

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	【重度化や終末期に向けた方針の共有と支援】 26.11.01現在入所者9人中6人が90歳以上の高齢(最高齢99歳)で、平均年齢90.1/平均要介護度2.7と高齢である。以前にも目標としてあげましたが今後重度化や終末期のケアに向けた医療機関との連携、職員のスキルアップ、家族の理解協力が必要となります。ホーム内での医療的なサポートには限界があるが入所者が最後までここで暮らせるようなケアを提供して行きたい。	先ず第一に職員のサービスの向上(ケアの質の向上)をより努力したい。更に医療に関わるスキル向上(高齢者に多い病気、糖尿病、高血圧、心臓疾患等や薬の知識)また個々の認知症(アルツハイマー、脳血管性、レヴィー小体、前頭側頭型等)に対するケアのスキル向上を図り、更なるケアの質向上を目指す。	研修会、講演会等の参加にてスキル向上に努め、社内カンファレンス等にてチームとしてケアの質向上を図る。また職員にやりがいや向上心を持ち働けるような職場環境にも努めるため、人材育成や人材の確保の努力を図る。人材の確保に関しては小さな町または介護という職での確保は厳しい状況である。しかし職場努力により職員の定着を図ると共にケアの質向上を目指すことにより事業所としてのレベルアップに向け努力する。	1年
2	26	【チームでつくる介護計画とモニタリング】 入居者の日々の様子やサービス提供時の状況は若干、生活記録に記入される事になっているが記録方法の工夫と充実を期待したい。	現在介護記録は各入居者毎に1週間単位で記録している。この記録票は2010年10月に入居者の高齢化と認知症の重度化に伴い記録より細かく記入(食事量、水分量、排泄状態等)できるように変更を行った。以前はケースを記入する形式で書き込むのに時間が掛っていた。今回はアセスメントとケアプラン、モニタリングとの連動性をもたし、より入居者の日々の様子やケアプランにあるサービスの状況が記入されるよう記録方法を工夫し更に充実した内容となるようにしたい。	介護計画書でのニーズや目標、サービス内容と連動した記録の工夫を検討したい。しかし記録に費やす時間が増えるようなことを避けたものにした。	6か月
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。